



教育振興だより

八幡平市教育委員会
教育振興運動推進事務局
令和6年6月 No.1

地域みんなで 子ども達を

いつもの朝の散歩道
迎えてくれるのは
あぜ道の小さな花
ふるさとの大きな山
元気な登校中の子どもたち



子どもは親の子として生まれますが、地域の宝でもあります。
その宝を地域全体で見守り育てようというのが教育振興運動
=キョウシンです。

このしゅみを子どもの豊かなくらしのチャンスとして、また
地域振興のチャンスととらえ、活用しましょう。

去る5月31日(金)午後2時から西根地区市民センターにおいて、
総会・研修会を行いました。平日にもかかわらず86名の方が参加し
ました。ありがとうございました。今年度の目標は次の通りです。



地域ぐるみで 子ども達にゆたかな体験をとどけよう！
——より多くの宝ものをもった子どもに——

主な年間の予定	期 日	場 所
「親子で話そう！つくろう！三行詩」	募集期間 6.10～9.30	
三行詩 巡回展	4.8～10.1	結の広場・市内コミセン
八幡平市子どもリーダー研修会	7.31(水)	西根地区市民センター
漢字検定	①10.20(日) ②1.25(土)	①荒屋コミセン②大更コミセン
八幡平市教育振興運動推進大会	R7.2.15(土)	西根地区市民センター
常任委員会 3回	①4.17 ②10.30 ③2.24	八幡平市役所等
広報「教振だより」発行	年4回	
「レッツはちまんたいけん」	年3回	

令和6年度 協議会組織

会 長 伊藤喜代美 銀河ステーション天文台長(再任)
副会長 関 宏典 安代実践区会長(新任) 副会長 大森 力男 荒屋地区振興協議会長(再任)
副会長 武田 敏之 市PTA連合会長(新任) 副会長 藤野 高嗣 柏台小校長(新任)
常任委員 各関係機関・団体等代表 11名 事務局 教育委員会教育総務課 4名
よろしくお願いします！



《今年度 こんなふうに進めてみましょう》

①子どもの体験を豊かに そして「夢」を描ける子どもに

体験は子どもの心と体に刺激をあたえます。「おもしろい」「またやってみたい」「なぜだろう」・・・体験は「夢」につながります。「夢」は学習意欲や次への活動意欲につながります。

「体験の格差」という言葉があります。家庭の経済的な条件によって子どもが経験できる体験に差が生じてしまうという指摘です。

八幡平市で育つことが、小学生・中学生・高校生の「豊かな経験」につながるよう社会・地域のちからを合わせて参りましょう。



② 楽しく 楽に 地域での活動を

重点【地域で】『大人と子ども みんなで参加 「地域に広げようみんなの笑顔」



地域における活動を親子に限定せず、地域振興協議会、コミュニティセンター、自治会との連携によってすすめてみましょう。地域住民が現役の子育て世代を支えることができれば、子育ては、親と地域住民に喜びをもたらします。もちろん、子ども達にとっても。

地域での活動は、これまでの読書やあいさつ運動といった活動を大切にしつつ、地域で工夫して進めます。その際、子ども達の考えをたいせつにしましょう。

③事務局は 地域での活動を支えます

重点【行政のリーダーシップ】子どもが育つ環境の充実

『おとなも子どももまなべる（あそべる）まちに』

地域での活動がスムーズに進み、また充実するように支援します。また、学習や文化を尊重する雰囲気地域に形成されるようにはたらきかけます。

○情報の提供・・・相談窓口のお知らせ

「どこか相談にのってくれるところがあればいいのに・・・」という思いに応え、総会で「活動相談先情報」を配布しました。これには、最も頼りになるコミセンの担当者名がのっています。

○学習参加機会の拡充（三行詩コンクールの充実、漢字検定の実施）

三行詩を考えると家族や地域のことを考えます。あわただしい日常のなかにそんな時間をもちたいものです。昨年度の1103人の市民がそんな時間をもったことになります。今年は目標を1100に設定しました。

漢字検定は2回実施します。受検料は盛岡などで行う公開会場より1000円安くなります。大人になっても学ぶ姿は、子どもの心によい影響を与えます。



④地域でのあそびとまなびの奨励・・・校庭や地域の施設利用

この提案は、日常生活に関係した提案です。親子や友達どうして校庭を使って遊ぶことは以前同様できますよと昨年お伝えしました。ただ、校庭利用を奨励するには限界があります。地域で子ども達が思いっきり遊んだり、まなんだりできる場を用意できないか、かんがえてみましょう。